

# “ケアする人をサポートする” 共助プラットフォームの展開

Beyond 5G新経営戦略センター  
リーダーズフォーラム  
A1 Team

ソニーグループ株式会社

ソフトバンク株式会社

静岡銀行

国立研究開発法人情報通信研究機構

日本電信電話株式会社

株式会社大林組

コンサルティングファーム

富士通株式会社

株式会社アドックインターナショナル

大原 知生

加藤 靖之

酒井 美紀

坂口 歌織

鈴木 宏

中沢 英子

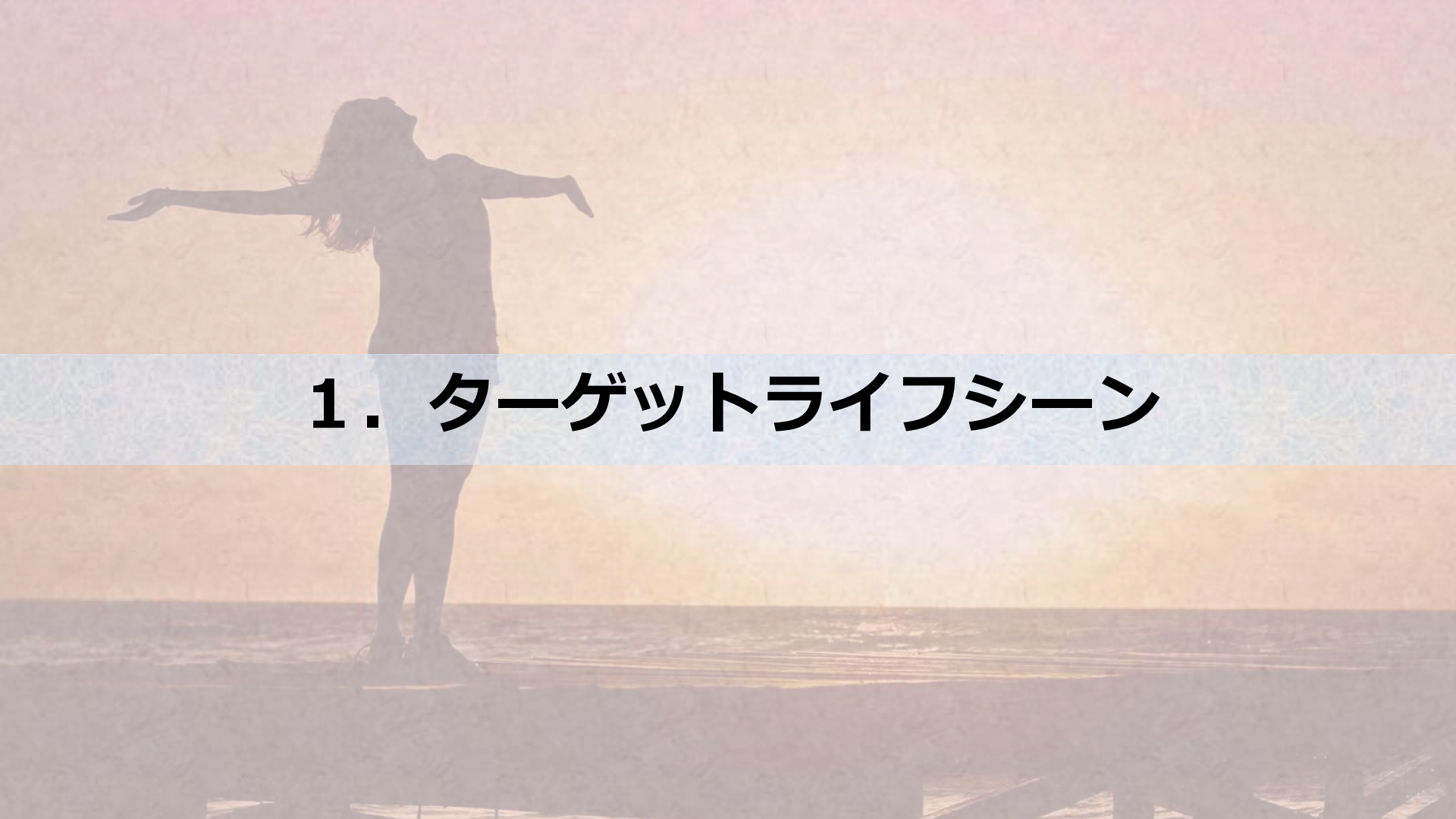
根岸 次郎

松岡 源

山口 信人

# 本日のトピックス

1. ターゲットライフシーン
2. ターゲットライフシーンを実現するためのアプローチ
3. ソリューション「共助プラットフォーム」
4. 共助PFの社会実装にむけた検討
5. 将来展望

A silhouette of a person with long hair, standing on a wooden pier or deck. Their arms are outstretched horizontally, and their head is tilted back. The background is a soft, warm sunset or sunrise over the ocean, with a light blue horizontal band across the middle of the image.

# 1. ターゲットライフシーン

# 2030年の ターゲット ライフシーン



自分らしさを維持しながら

“他の人時間”をケアする





# ターゲットライフシーンの背景

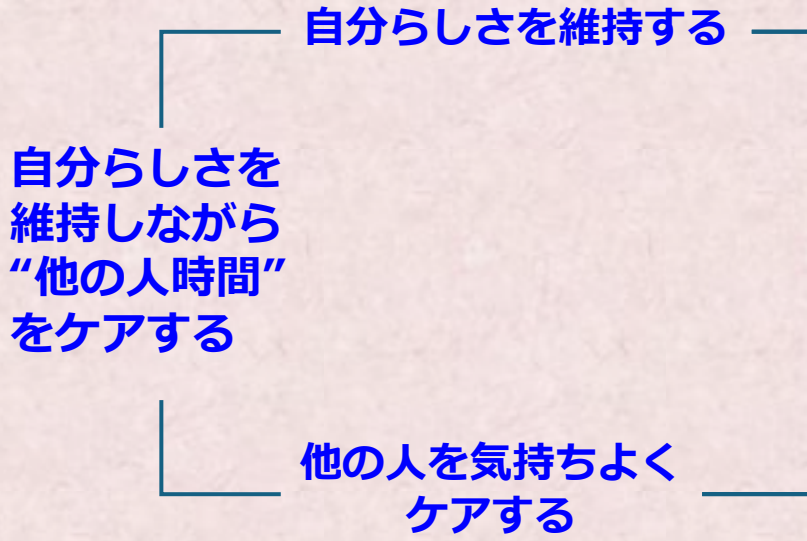
多くのJobを機械等で解決してきた（洗濯、掃除、買い物、食事、移動など）



子どもや親との“他の人時間”については、倫理感やその時間自体に幸福感が含まれることから、解決するのが難しかった。しかし、振り返ってみれば、子育てや介護で精神を摩耗していることが多い。



# ターゲットライフシーンを実現するコア要素



自分らしさを維持しながら“他の人時間”をケアする

自分らしさを維持する

他の人を気持ちよくケアする

## 自分らしさを知る

自分らしさを維持するためには、まず「自分らしさ」とは何かを認識する



## 時間・心に余裕を持つ

自分らしさを維持するためにも他の人を気持ちよくケアするためにも時間と心の余裕が必要

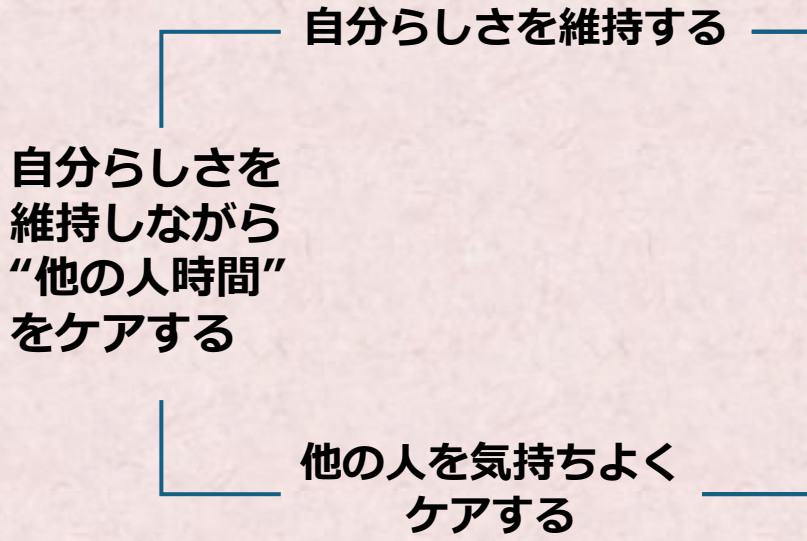


## 誰かをケアする人をサポートする

誰かをケアしている人をサポートする仕組みが必要



# ターゲットライフシーンを実現するコア要素



自分らしさを維持する

## 自分らしさを知る

自分らしさを維持するためには、まず「自分らしさ」とは何かを認識する

課題



どうやって自分の状態や価値観を客観視するか



## 時間・心に余裕を持つ

自分らしさを維持するためにも他の人を気持ちよくケアするためにも時間と心の余裕が必要

課題



自分でやらなくても良い事、できないことをしてしまう

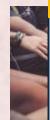


他の人を気持ちよくケアする

## 誰かをケアする人をサポートする

誰かをケアしている人をサポートする仕組みが必要

課題



頼れる仕組み、人が少ない

# ターゲットライフシーンを実現するコア要素

自分らしさを維持する      自分らしさを知る

これまでテクノロジー企業がカバーする機会の少なかった社会課題である

「誰かをケアする人をサポートする」に着目



介護をしている人  
子育てしている人  
ヤングケアラー  
など



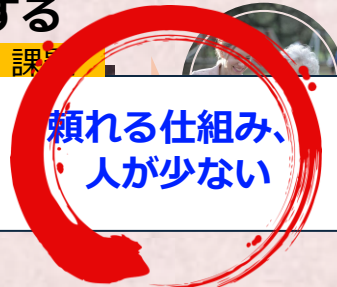
今回は対象外

データを用いた自身の状態分析や行動分析はテック企業、ヘルスケア企業が既に取り組んでいる

自分維持  
“他”  
をケ

わには  
可かを  
持つ  
の

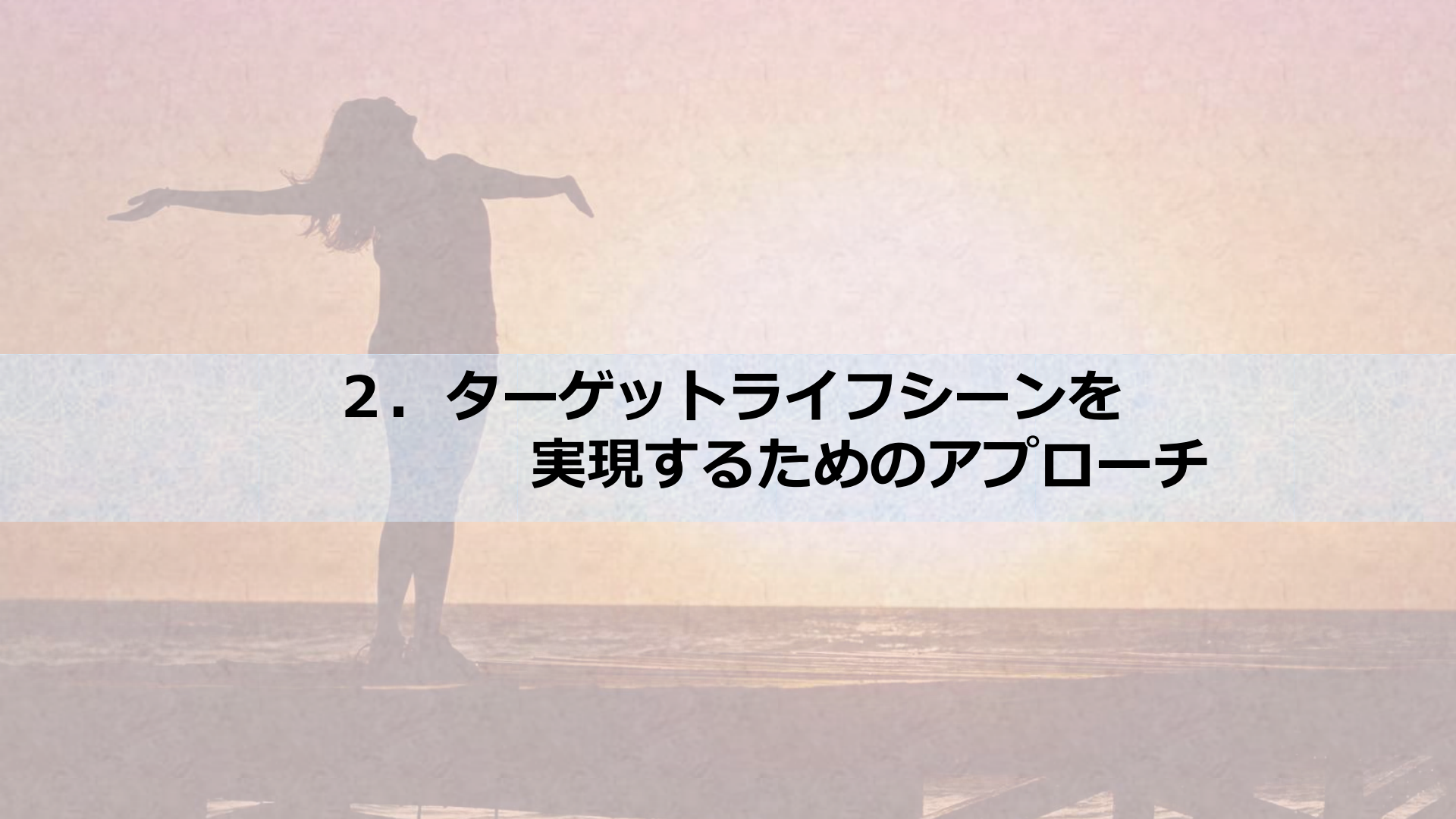
サポートする



頼れる仕組み、  
人が少ない

サポートする仕組みが必要



A silhouette of a person with long hair, standing on a wooden pier or deck. Their arms are outstretched horizontally, and their head is tilted back. The background is a soft, warm sunset or sunrise over the ocean, with a light blue horizontal band across the middle of the image.

## 2. ターゲットライフシーンを 実現するためのアプローチ

# コア要素実現にむけたアプローチ

ターゲット  
ライフ  
シーン

自分らしさを維持しながら  
“他の人時間”をケアする

コア要素

誰かをケアしている人を  
サポートする

育児や介護で疲弊した自分を  
ケアするにはどうしたらいい？



## アプローチ

### ① 自助

サービスに支払うお金に限りがある



### ② 公助

公的サービスも限界がある



### ③ 共助

新しい仕組みをつくれないうか？

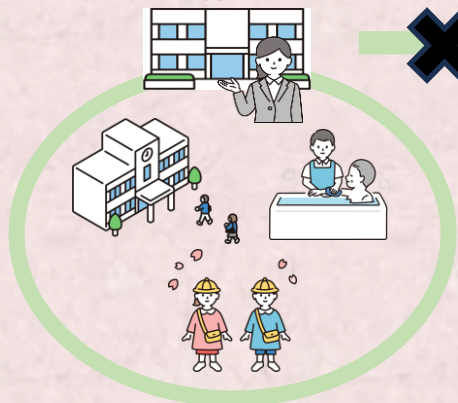
# 誰かをケアする人をサポートする共助の仕組み

**共助**の実現により、これまでアプローチできなかったニーズに対応可能に

お互いに助け合う社会（共助）

行政によるサービス  
(公助)

市役所



行政サービスが必ずしも  
届かないニーズがある



小さな悩みでも  
困ったときに身近なところで  
サポートが受けられる



人のつながりによる  
信頼感、安心感  
Well-beingな社会へ

# 共助社会にむけた内閣府の取り組み

内閣府 NPO ホームページ

サイト内検索  検索

内閣府 Cabinet Office, Government of Japan

NPO基礎情報 **有識者会議・研究会等** 統計調査等 法律・制度改正 NPO法Q & A 寄附について

TOP > 有識者会議・研究会等 > **共助社会づくり懇談会** > 共助社会づくり懇談会とは

## 共助社会づくり懇談会とは

### 共助社会づくり懇談会の趣旨

地域の活性化を図るとともに、全ての人がその能力を社会で発揮できるよう下支えを進める共助社会をつくるためには、特定非営利活動法人等による地域の絆を活かした共助の活動が重要となってくる。このような活動の推進に必要な政策課題の分析と支援策の検討を行う場として、内閣府経済財政政策担当大臣主催の会議として、有識者による「共助社会づくり懇談会」を開催する。

[懇談会の開催について \(PDF形式: 56KB\)](#)

[委員名簿 \(平成28年3月31日まで\) \(PDF形式: 52KB\)](#)

[運営要領 \(PDF形式: 44KB\)](#)

[ページトップへ](#)

### 社会的インパクト評価の推進に向けてー社会的課題解決に向けた社会的インパクト評価の基本的概念と今後の対応策についてー (平成28年3月)

社会的インパクト評価検討ワーキング・グループにおいて、社会的インパクト評価の基本的概念や普及に向けた課題と対応策について議論が行われ、平成28年3月に報告書が取りまとめられた。

[報告書 \(全文\) \(PDF形式: 1,270KB\)](#)

[\(別紙\) 社会的インパクト評価にかかる課題と対応策 \(PDF形式: 180KB\)](#)

[報告書 \(概要\) \(PDF形式: 284KB\)](#)

[ポイント \(PDF形式: 1MB\)](#)

### 有識者会議・研究会等

- [共助社会づくり懇談会](#)
- [共助社会づくり懇談会とは](#)
- [共助社会づくり懇談会 開催状況](#)
- [共助社会づくり懇談会メンバーによる意見交換会 開催状況](#)
- [平成27年度地方共助社会づくり懇談会 開催状況](#)
- [平成26年度地方共助社会づくり懇談会 開催状況](#)
- [平成27年度ワーキング・グループ 開催状況](#)
- [平成25年度ワーキング・グループ 開催状況](#)
- [人材交流・教育・融資・寄附に関する事例集](#)
- [人材交流・教育・融資・寄附に関する事例集2](#)

共助社会づくりの推進について  
～新たな「つながり」の構築を目指して～

平成 27 年 3 月  
共助社会づくり懇談会

内閣府ホームページより



# 共助社会の実現に向けた課題

(内閣府「共助社会づくり懇談会」報告を参考)

共助の主体	課題	解決の方向性 (課題まとめ)
地域住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域課題が存在することへの認識</li> <li>・ 課題解決に向けた当事者意識、参画意識の醸成</li> </ul>	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>まずは共助社会のプラットフォームとなる仕組みが必要</b></p> </div>
地縁組織 (自治会・町内会等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動内容の積極的な情報発信と地域住民の理解醸成</li> <li>・ 他の共助主体との連携による地域活動の活性化 (自治会単独では限界あり)</li> </ul>	
NPO	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動内容、ボランティア・寄付の受け入れに関する積極的な情報発信</li> <li>・ NPO活動を支援する中間支援組織の人材育成・資金確保</li> <li>・ 自らが主体となった地域課題の発掘、共有</li> <li>・ 活動継続のための自立化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>共助社会に参加しやすい環境づくり</b> (地域社会の課題/魅力/活動内容の情報発信と「見える化」、議論の場の設定)</li> <li>■ <b>多様な共助主体による有機的なネットワークの構築と活動範囲の拡大</b> (地縁組織やNPOの活動への共感者の増加、専門家によるコンサルティング等)</li> </ul>
企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域企業での人材確保による活性化 (大都市からの人材還流など)</li> <li>・ 地域での社会貢献活動を通じた事業継続 (企業価値や従業員の士気向上、ソーシャルブランドの確立)</li> <li>・ 経営トップ層の意識向上</li> <li>・ 他の共助主体 (NPO等) との連携と積極的な情報発信</li> </ul>	
ソーシャルビジネス (社会課題解決を目的とした事業活動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会認知度の向上と経済的な自立</li> <li>・ 社会起業家の育成 (資金調達や経営ノウハウを持ったマネジメント人材)</li> <li>・ 地域の中小企業の参入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>地域の課題解決を担う人材育成と共助主体間の人材交流</b> (地域の即戦力となるリーダーや専門家の育成、学校での社会貢献活動教育)</li> <li>■ <b>ビジネスと社会課題解決活動の紐づけと持続的な取り組み</b> (自社の強みを社会課題解決に活かした付加価値創出、ソーシャルビジネスの自立化)</li> </ul>
地域金融機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO等へのアドバイザー的役割による支援 (資金貸付だけではなく)</li> <li>・ NPO等との相互理解による関係性の構築、共助主体のマッチング</li> </ul>	
教育機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来の共助社会を担う人材の育成</li> <li>・ 学校教育での社会貢献活動機会の提供</li> <li>・ 大学での地域の生涯学習機会の拠点提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>地域活動を支える円滑な資金循環</b> (寄付活動の「見える化」による信頼性向上、コミュニティ財団・市民ファンドとの連携)</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政内部や近隣自治体間での連携強化</li> <li>・ NPO等の活動に関する情報収集と評価、政策連続性の担保</li> <li>・ 共助社会のコーディネータ役としての企画立案</li> </ul>	

# 共助社会の実現に向けた課題 (内閣府「共助社会づくり懇談会」報告を参考)

- ・情報発信と住民理解
- ・他の共助主体との連携

- ・地域課題への認識
- ・当事者意識、参画意識の醸成

- ・情報発信
- ・中核人材の育成と資金確保

- ・近隣自治体との連携
- ・NPO等の活動への理解と政策の連続性
- ・共助主体のコーディネータ的役割

**地縁組織**(町内会など)

**地域住民**

**NPO**



**企業**

**行政**



様々な主体を有機的につなぐ**現代版共助社会の仕組み整備**

- ① **共助主体 (特にケアする人) の確保とマッチング**
- ② **共助社会に参画するインセンティブ**

- ・地域での人材確保
- ・社会貢献活動を通じた事業継続
- ・他の共助主体との連携と情報発信

**ソーシャルビジネス**

**地域金融機関**

**教育機関**

- ・認知度向上と経済的自立
- ・社会起業家の育成

- ・資金貸付以外のアドバイザー的役割
- ・他の共助主体との連携/マッチング

- ・将来を担う共助主体の育成
- ・地域での生涯学習機会の提供

# 厚生労働省によるボランティアポイント制度



## 地域医療介護総合確保基金（介護人材分） 令和2年度拡充分

令和2年度予算：  
国費：82億円  
（公費：124億円）

都道府県における総合的な方針のもと、介護現場により身近な市区町村が介護人材確保の基盤（プラットフォーム）を構築しながら、地域の課題に応じた効果的な施策が展開できるよう新規メニューの創設や内容を拡充。

### 参入促進

- ①介護分野への元気高齢者等参入促進セミナー事業（**新**）
- ②介護人材確保のためのボランティアポイントの活用（**新**）
- ③地域の支え合い・助け合い活動継続のための事務手続き等支援事業（事務お助け隊）（**新**）



### 労働環境等の改善

- 【離職の防止等】
- ④介護職員に対する悩み相談窓口設置事業（**新**）
- ⑤介護事業所におけるハラスメント対策推進事業（**新**）
- ⑥若手介護職員交流推進事業（**新**）
- ⑦介護事業所における両立支援等環境整備事業（**新**）
- 【業務負担軽減・生産性の向上】
- ⑧介護ロボット導入支援事業の**拡充**
- ⑨ICT導入支援事業の**拡充**
- ⑩介護事業所に対する業務改善支援事業の**拡充**（パイロット事業の全国展開）
- ※⑧～⑩の拡充分は令和5年度までの実施
- 【外国人介護人材への対応】
- ⑪外国人介護人材受入れ施設等環境整備事業（**新**）



### 資質の向上

- ⑫チームオレンジ・コーディネーター研修等事業（**新**）
- ⑬介護相談員育成に係る研修支援事業（**新**）



### **新** 離島、中山間地域等支援

- ⑭離島、中山間地域等における介護人材確保支援事業
- 人口減少や高齢化が急速に進む離島や中山間地域等における介護人材の確保に向けた取組を支援



### **新** ⑮市区町村介護人材確保プラットフォーム構築事業

市区町村において、関係機関・団体との連携を図りつつ、総合的な介護人材確保を推進するための基盤を構築。（人材確保に向けた中核機関や協議会の設置等）



※事業の実施形態は下記を選択可能

- ①市区町村等が上記の事業を実施する場合に都道府県が補助、②都道府県自らが上記事業を実施（委託可）
- ※基金事業の拡充に伴い都道府県の体制強化も併せて図る必要があるため、「介護人材確保対策連携強化事業（協議会設置等）」の機能を強化して対応。


厚生労働省ホームページより

# 本プロジェクトでアプローチする対象



## ケアを必要とする人たち

介護、ベビーシッター・・・




確実に需要はあるが、  
資格が必要であったり、  
生命や安全にかかわる  
作業は提供できる人が  
限られてしまう



## 誰かをケアをする人たち

ちょっとした手助け



資格や難しい知識がなく  
ても誰もが手を差し伸べ  
られる作業にフォーカス



# ケアする人のサポートは、子育て・介護世代だけの課題ではない



きょうだいの面倒みるなんて、あたりまえでしょ。

友達と遊びたいけど、  
家のこともやらなきや。

誰を頼っていいか  
わからないし…

自分って、  
ヤングケアラーなのかな？

部活？そりゃ、  
したいけどさ…

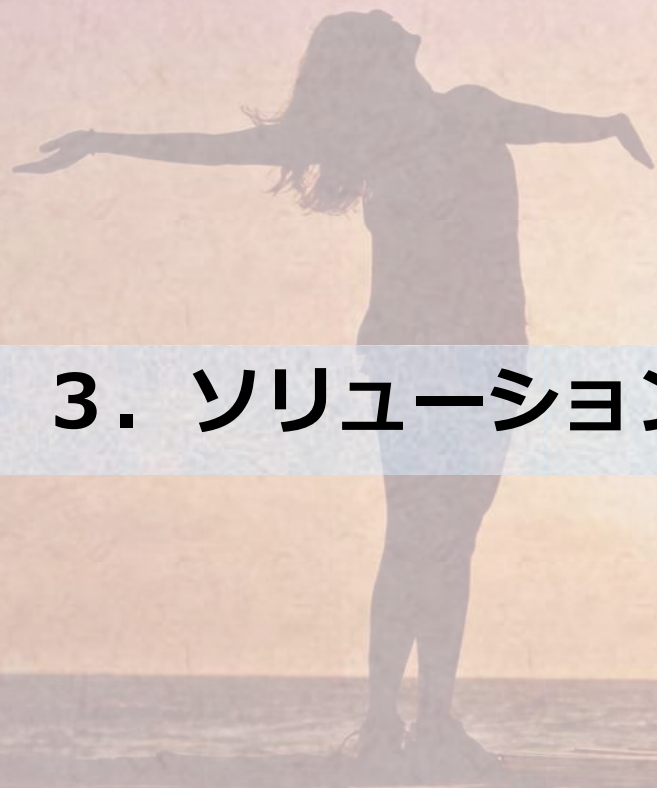
別に嫌でやってるわけじゃないし。

「かわいそう」とか、  
そういうんじゃないんだけどな。

家族のこと、  
話したくないし。

家族のケアを  
こどもがしている。  
**ヤングケアラー**を  
知っていますか？

こどもまんなか  
こども家庭庁



### 3. ソリューション「共助プラットフォーム」

# 「共助プラットフォーム」実現の構成要素

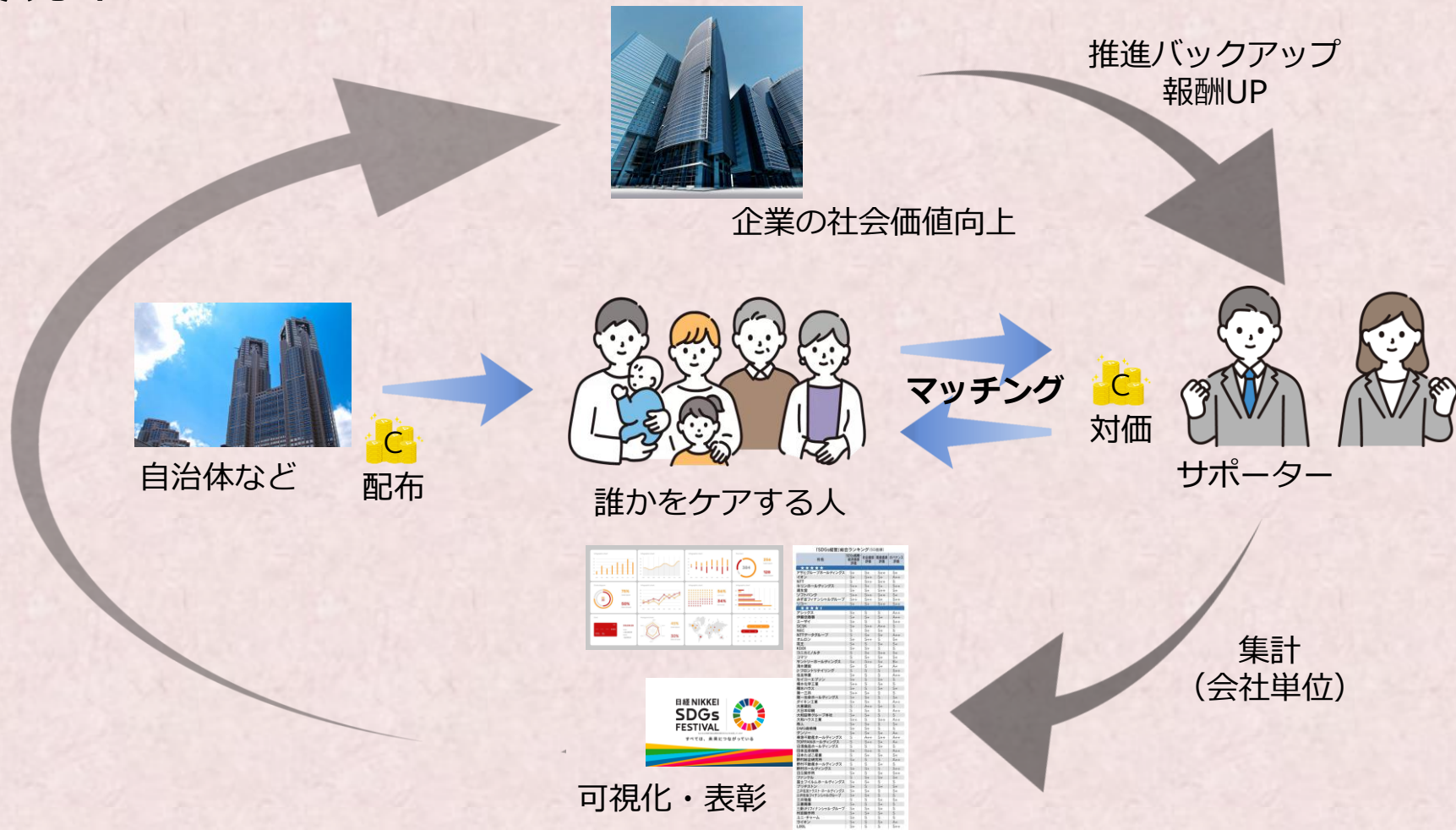
## テクノロジー

- ① “**共助コイン**”の発行、利用、集計
- ② 適切な**マッチング**
- ③ “**通信技術等**”の活用で安心安全な支援の実現

## ルール形成

社員が獲得した  
**“共助コイン”**は  
企業ごとに集計可能とし  
統合報告書等の  
**開示項目**にする

# 実現イメージ



企業の社会価値向上



自治体など



配布



誰かをケアする人



マッチング



対価



サポーター



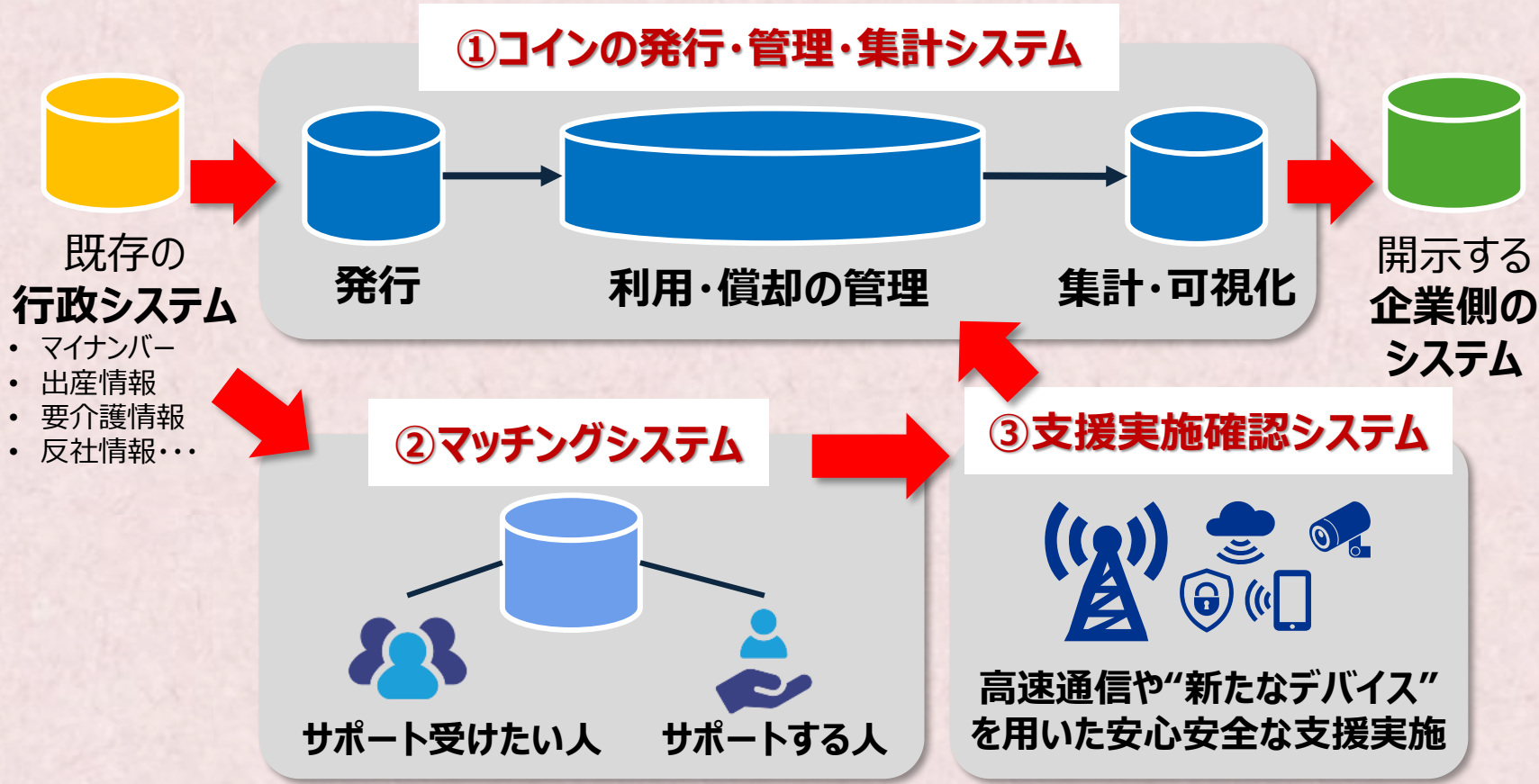
順位	企業名	スコア	順位	企業名	スコア
1	トヨタ自動車株式会社	92	101	株式会社ニチレイ	58
2	パナソニック株式会社	88	102	株式会社ニッポン	57
3	日立製作所株式会社	85	103	株式会社ニフネ	56
4	三菱商事株式会社	82	104	株式会社ニフコ	55
5	住友商事株式会社	78	105	株式会社ニフケイ	54
6	丸善株式会社	75	106	株式会社ニフキ	53
7	丸善ホールディングス株式会社	72	107	株式会社ニフキ	52
8	丸善株式会社	70	108	株式会社ニフキ	51
9	丸善株式会社	68	109	株式会社ニフキ	50
10	丸善株式会社	65	110	株式会社ニフキ	49



可視化・表彰



# 共助PFを実現する3つのシステム

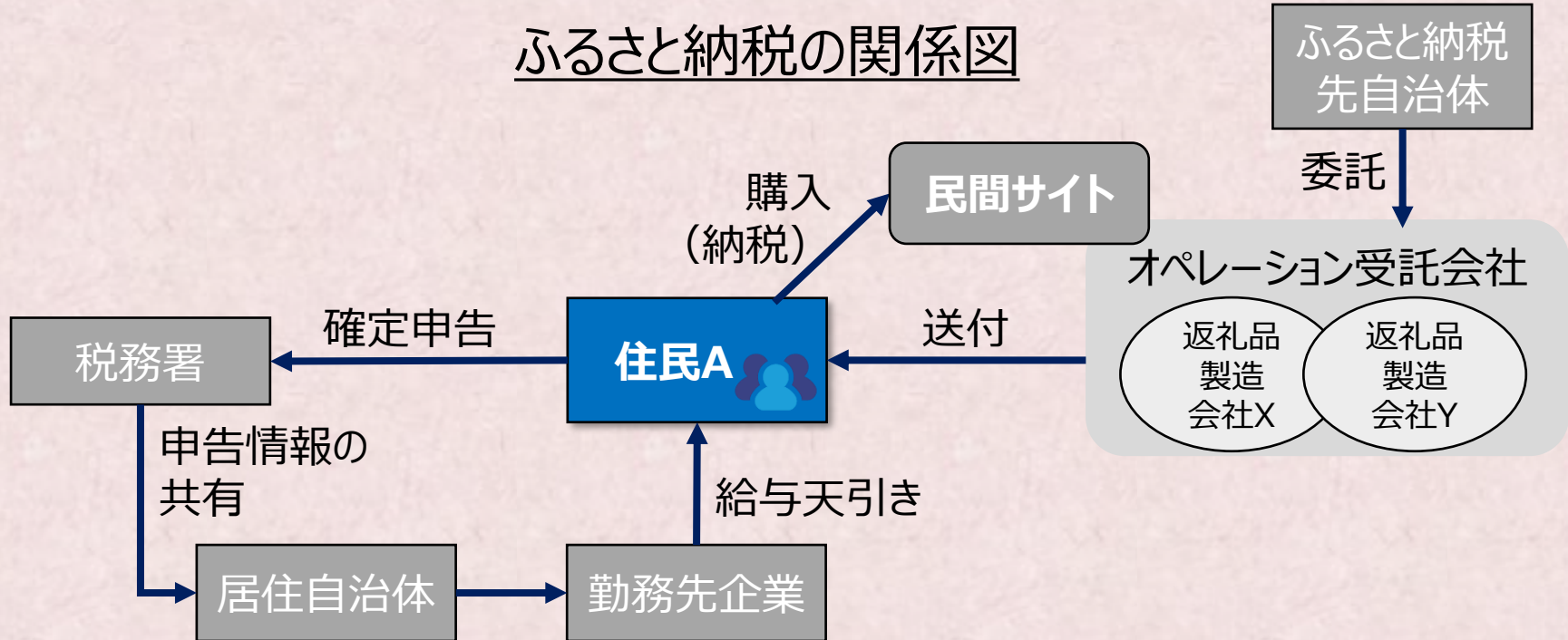


# 「ふるさと納税」をアナロジーにしたルール設計

総務省

総務省はルールメーカー、オペレーション管理  
仕組みは全国统一だが、オペレーションは自治体で柔軟性を持たせている

## ふるさと納税の関係図



# 共助PF実現にむけた業務イメージ

	企画 構想	システム開発（①～③は連携）			運用	展開
		①コイン管理	②マッチング	③支援実施		
業務 イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール設計</li> <li>・システム要件検討</li> <li>・実証実験による検証</li> </ul>	既存の行政システムなどと連携してコインの発行、移動などの管理システムの開発	支援を必要とする人と支援者をマッチングするシステムの開発	マッチングされた人が安全に支援実施されたことを確認するシステムの開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムの運用</li> <li>・トラブルシューティングなどの事務局</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治体での活性化支援、成功例の横展開</li> <li>・海外展開に向けたパッケージ化</li> </ul>
プレイヤー	リーダーズフォーラムメンバー	オープンソース化し <b>Web3的</b> に構築できないか？	既存のマッチングシステムを応用	通信事業者等により通信を使ったソリューション	各自治体及びシステム会社	リーダーズフォーラムメンバー

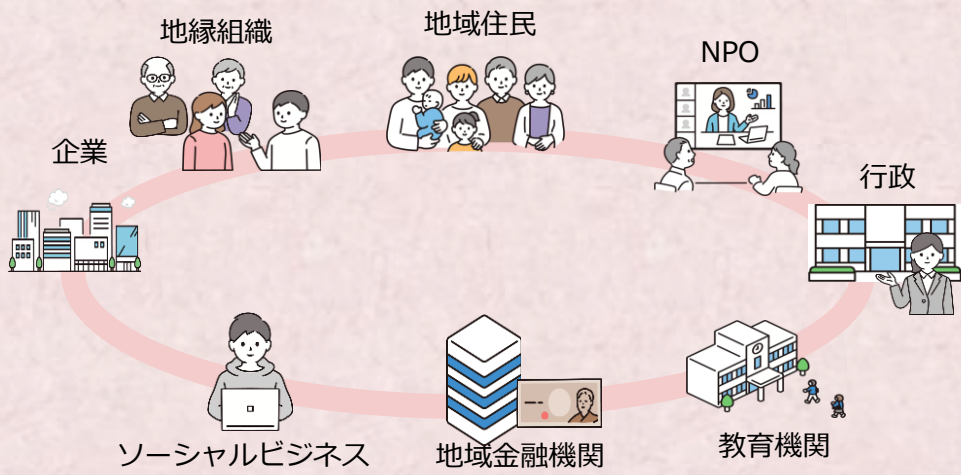
# 社会にとってのメリット

- ・ 共助の仕組み導入により、自助、公助での人材や資金の不足を乗り越え、ケアする人を必要な時にサポートすることが可能になる。
- ・ 仕組みの導入により、ニーズ、リソースが把握でき、自助、公助も含めたサービスの見直し、プレイヤー間の連携が進展する。

共助の仕組みによるサポート



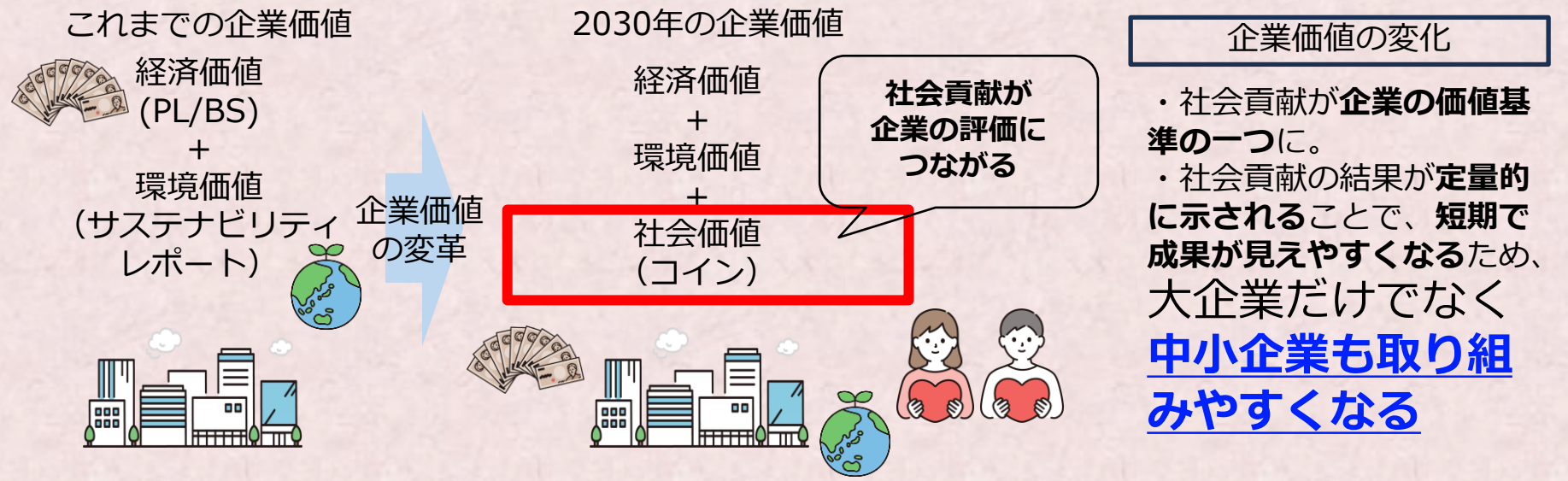
**把握されたニーズ、リソースに基づく  
サービスの見直し、プレイヤー間の連携が進展**





# 企業にとってのメリット

企業にとってCSRの重要性が高まる中、社会貢献の数値化は企業価値のあり方を変えるとともに、社会貢献を行うことは企業の持続的な成長にもつながる。



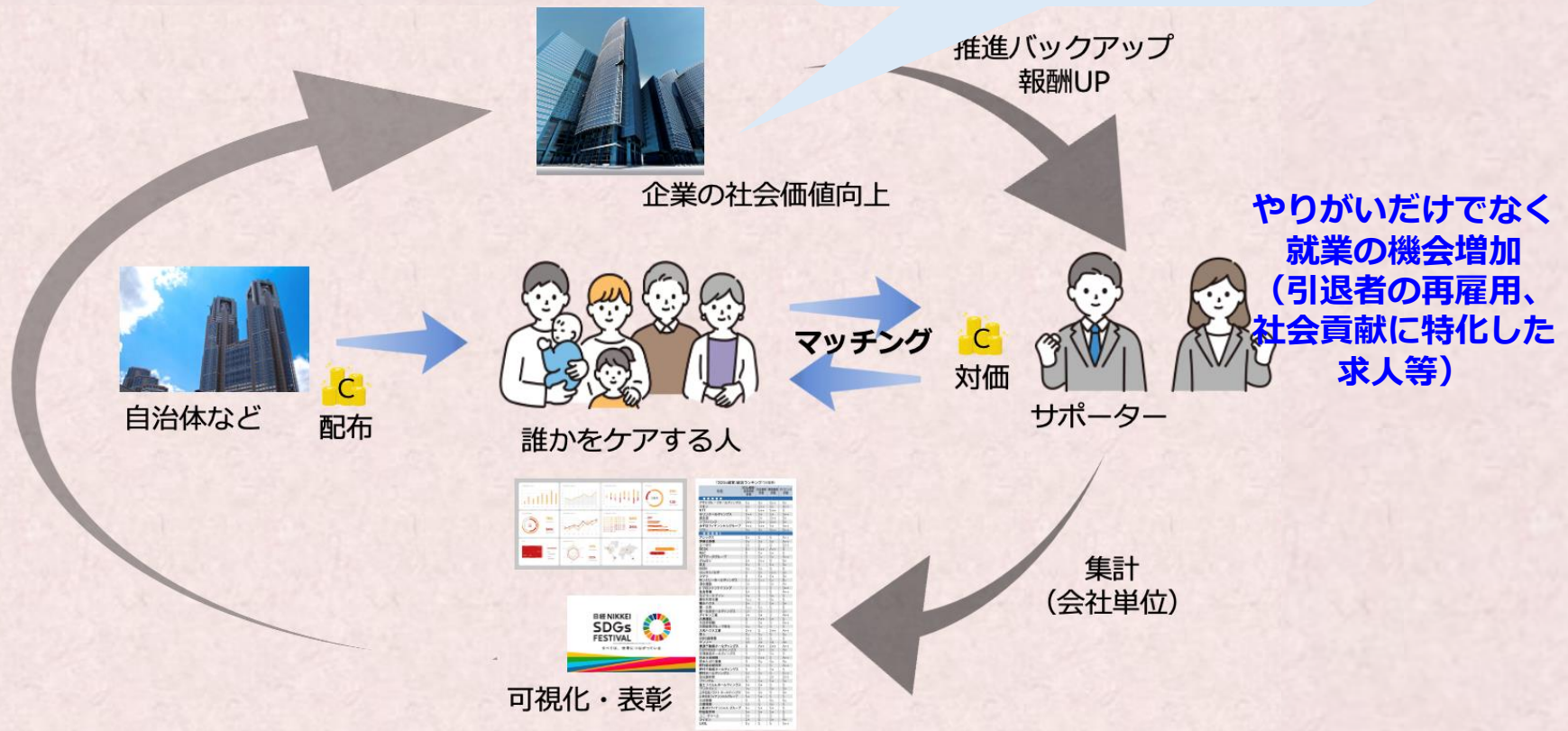
社会課題への取組、社会貢献は企業の持続的成長につながる重要な要素\*。

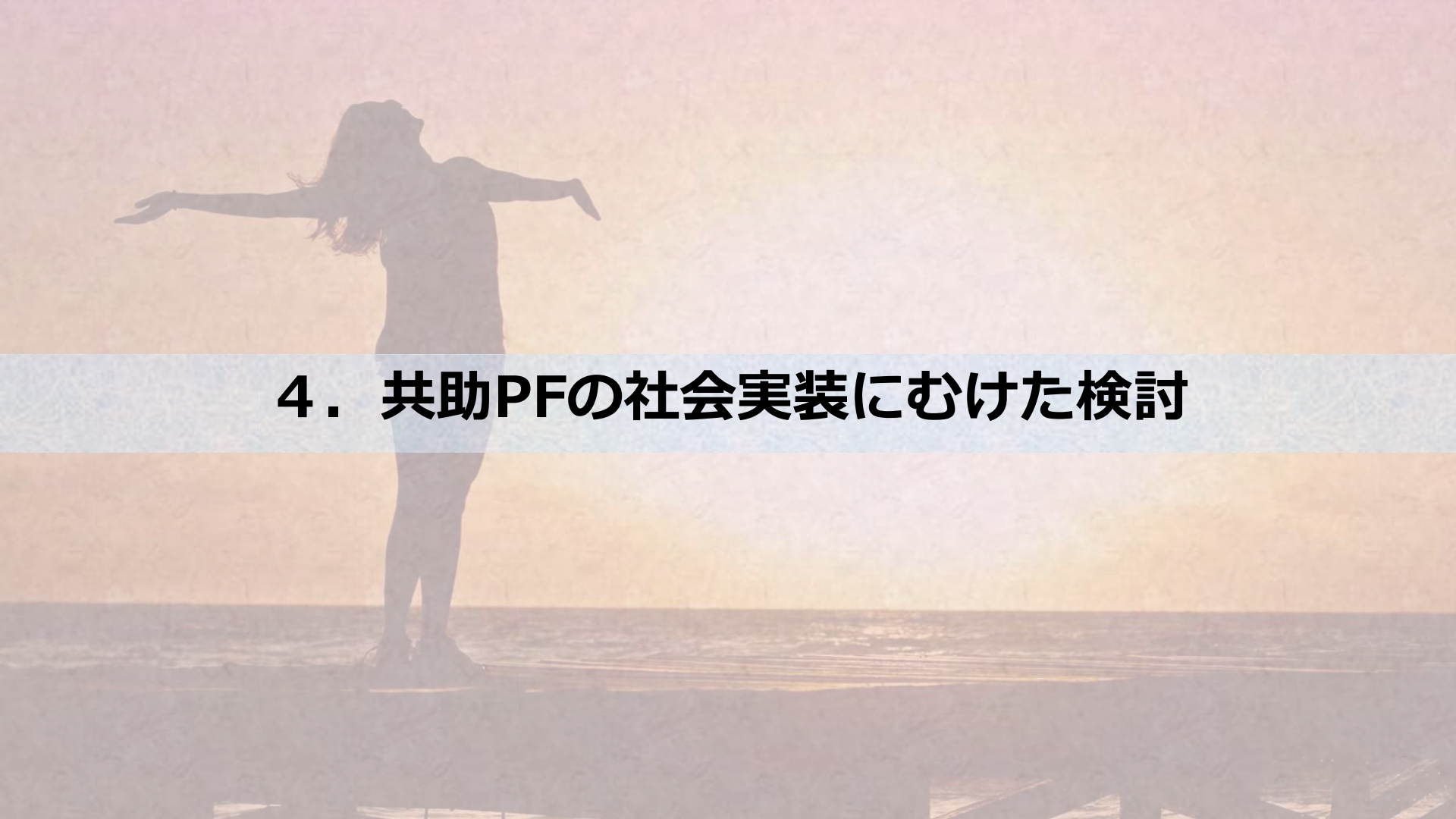
- **共感する熱意のある人材が集まる** (人的資本の価値向上)
- つながったヒト・モノ・カネ・データが新たな需要とイノベーションを生み、**持続的成長の原動力**に。
- 消費者や地域からの評価は、**中長期的な企業価値向上**に (将来のリスクプレミアム減少)

\*経済同友会「共助資本主義～「企業のパーパス」と「共感」を起点とした「アニマル・スピリッツ」の覚醒～」を参考

# サポーターにとってのメリット

企業にとって、  
社会貢献活動が  
できる人材が必要に

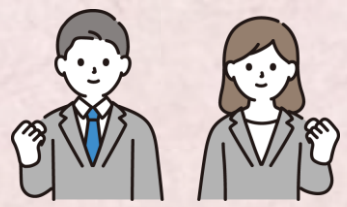


A silhouette of a person with long hair, arms outstretched, standing on a wooden pier or deck. The background is a warm, golden sunset over the ocean. The person is positioned on the left side of the frame, looking towards the right. The sky is a gradient of orange and yellow, and the water is dark with some ripples. The pier has wooden railings visible in the foreground.

## 4. 共助PFの社会実装にむけた検討



# 実装に向けた課題・対策①



サポーターをどう集めるか？



やりたい人だけでは足りないため  
企業の方で仕事として集める  
スマホなどから気軽に参加できる形にする



誰かをケアする人をどう集めるか？



コインを配布することで利用機会を作る  
スマホなどから気軽に参加できる形にする



配布



企業をどう集めるか？



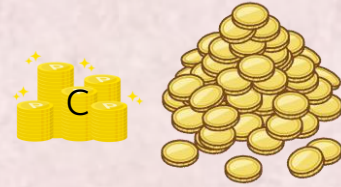
段階的に統合報告書への開示義務とし  
企業として取り組むべきという  
文化を作る



業種	開示義務の有無	開示義務の開始時期
金融	あり	2025年
製造	あり	2025年
流通	あり	2025年
サービス	あり	2025年
建設	あり	2025年
エネルギー	あり	2025年
運輸	あり	2025年
情報	あり	2025年
不動産	あり	2025年
その他	あり	2025年



# 実装に向けた課題・対策②



信頼性をどうやって高めるか？

マッチングした人を通じて犯罪などに繋がらないか

コインの不正な受け渡しや発行はされないか？



技術である程度は解決可能

- ・通信技術を使った新たなデバイスで高齢者も小さな子供も安心して支援が受けられる
- ・レビューと評価システム: 個々の行動の後には、他のユーザーが評価とレビューを提供する
- ・バッジと報酬システム: 特定の動作、貢献、達成に対するバッジまたは報酬を提供する
- ・本人確認とバックグラウンドチェック: ユーザーの身元を確認し、場合によっては適切性を確認するためのバックグラウンドチェックを実施
- ・サポート実施中、前後の時間帯の位置情報が記録される
- ・対話型認証: 操作履歴、行動分析などに基づく信用評価
- ・コミュニティ運営: コミュニティのメンバーが不適切な行動を取った場合に通報やブロックを行える  
マッチングシステム内でのコミュニティ作成

- ・コイン受け渡しは実際にサポートが行われたかを位置情報などの行動履歴をもとにAIなどで判断する
- ・コインはブロックチェーン技術を用いて情報改ざんを防ぐ

など

# 想定されるニーズ

実際にサポートできる内容がわからないと、誰かをケアする人やサポーターも手が出しづらいため具体化が必要  
比較的簡単にサポートできるものがベター

まず需要が大きいところから実施

- ・ 子守（\*時間子供を見ていてほしい）
  - ・ 子供、お年寄りの送迎
  - ・ 買い物
  - ・ 力仕事
  - ・ 話を聞いてほしい
  - ・ 付き添い
  - ・ 公的申請などの紹介
  - ・ かんたんな技術サポート(パソコンの困りごと)
  - ・ 散歩(一緒に、ペット)
  - ・ イベントへの参加
  - ・ 掃除
  - ・ 洗濯
  - ・ 料理
- など



# ユースケース(誰かをケアする人の場合)



40代Aさん  
仕事に家事に介護に  
忙しい日々

遠方でなかなか実家に帰れてないなあ  
庭掃除ができていないなあ



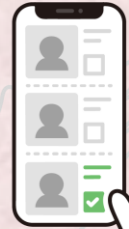
①

※コインは  
事前配布



「庭掃除」を一覧から  
選択

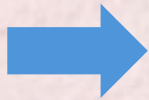
②



サポーター候補の中  
から選択、予約

③

サポーター  
「近所なので私が掃除して  
おきます。」



※遠方でも対応可能

④



完了したらコインを  
渡す



心配ごとが減って、  
少し楽になったかも…

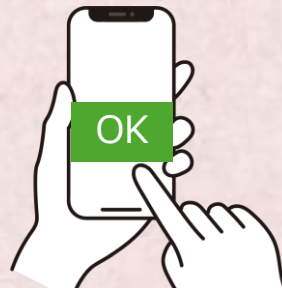
# ユースケース(サポーターの場合)



20代Bさん  
都会で一人暮らし  
特にやることもないが  
誰かの為になりたい!

サービスの一覧の中から  
自分のできることを登録

①



依頼の通知が届くので  
対応できる場合は  
OKボタンを押す

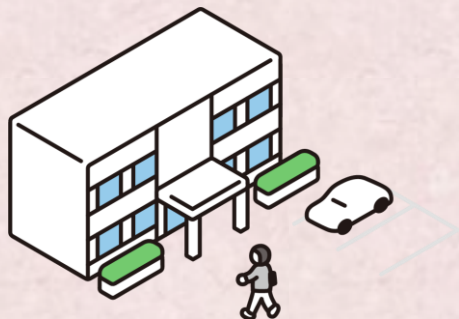
②



誰かをケアする人から選  
択されマッチング完了

③

④




○時○分  
役所への送迎



完了したらコインが  
追加される



A silhouette of a person with long hair, standing on a wooden pier or deck. Their arms are outstretched horizontally, and their head is tilted back, looking towards the sky. The background is a soft, warm sunset or sunrise over a body of water, with a light blue horizontal band across the middle. The overall mood is one of hope and looking forward.

## 5. 将来展望

# 将来展望

- ・ 需要が高い要求をロボット化など優先的に実施

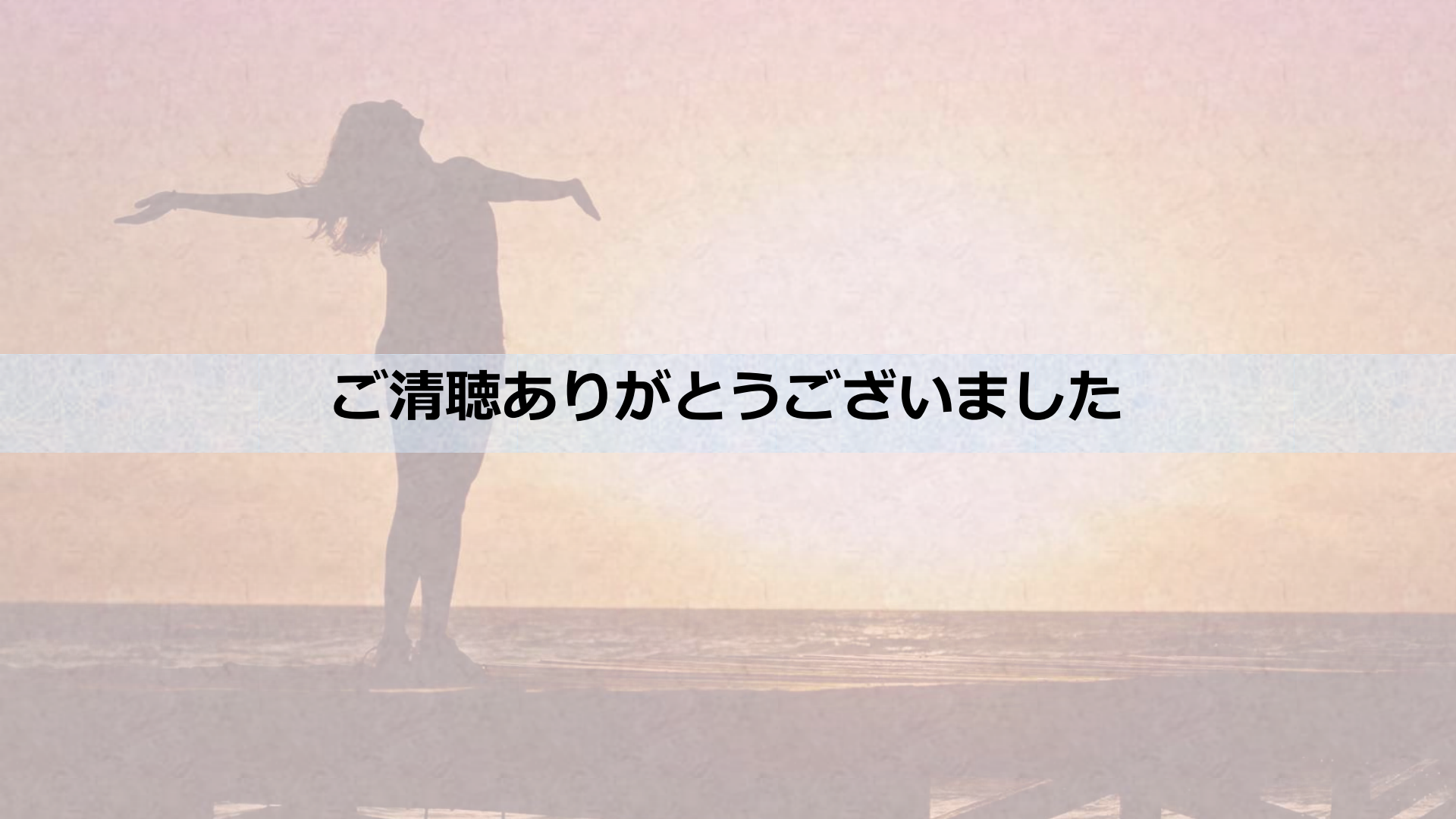


- ・ 子育て、介護だけではなく他の分野にも展開



- ・ 仕組みを海外展開
  - ・ システムはオープンソースとしてどの国でも取り入れやすく
  - ・ 導入アドバイザーや関連デバイス、ネットワークを活用した仕組みを販売



A silhouette of a person with long hair, standing on a wooden pier or walkway. Their arms are outstretched horizontally, and their head is tilted back. The background is a soft, warm sunset or sunrise over a body of water, with a light blue horizontal band across the middle. The overall mood is peaceful and grateful.

**ご清聴ありがとうございました**